

アジア官民会議の概要

○アジア官民会議の開催目的と概要

本会議は、アジアを含む国際的な自動車基準の調和と認証の相互承認を促進することを目的として、アジア地域における自動車先進国であるわが国が平成10年より開催している。

本会議を通じて、自動車基準調和を推進する唯一の世界フォーラムであるWP29へのアジア諸国の参加を促し、自動車の基準・認証制度の整備と国際的な調和の支援をすることにより、アジア諸国における自動車交通にかかる安全性の向上・環境の保全や、自動車・自動車部品の開発・生産・認証にかかるコストの低減を図り、アジア地域の健全なモータリゼーションの進展に貢献することを目的としている。

これまでの計10回の会議において、WP29への参加及び58年協定への加盟の重要性が参加各国の共通認識として確認され、いくつかの国がこれらに参加及び加盟し始めるなど、その実現に向けた活発な議論が行われている。

○第11回会議の概要

開催期間：平成18年11月28日（火）～29日（水）

場所：ジャカルタ（インドネシア）

主催者：インドネシア国運輸省、自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)

後援：日本国国土交通省

参加国及び地域：ブルネイ、中国、インド、インドネシア、韓国、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、台湾、日本、ASEAN、オーストラリア※、南アフリカ※
（※はオブザーバー）

出席者：各国の自動車関連行政機関（運輸、工業、環境など）関係者
（日本からは、国土交通省自動車交通局技術安全部
技術企画課国際業務室長 他1名が参加）
各国の自動車関連民間団体関係者
自動車工業会
自動車部品工業会 など
（全体で約160名、うち日本から18名が参加）

第11回会議の結果：

第11回の会合においては、イスカンダール運輸省陸運総局局長により、安全・環境問題への取組みと58年協定への加盟が重要である旨表明されたとともに、自動車基準の調和と相互認証について活発な議論が交わされた。

その結果、

- 1) 本年のマレーシア及びタイの58年協定加盟に引き続き、シンガポール及びフィリピンが2007年もしくは2008年及び2008年中にそれぞれ加盟を目指すなど、各国の協定加盟が現実のものとなる中で、アジアにおける58年協定下での相互承認を各国間で具体的に議論していくこと。
- 2) アジアのWP29への参加国の拡大とそれに伴うアジアの実態の発信を通じて、58年協定による技術規則策定/改定に関わっていくこと。
- 3) これまでにインドネシア、フィリピン及びタイ等で開催された、各国によって主体的に開催される技術的な議論を行う専門家会議について、今後も有効に活用していくと共に2007年以降の開催予定が以下のとおり確認された。また、専門家会議を通じて、アジアの連携強化を図り、新しい官民会議のあり方について議論していくことも確認された。
2007年2月 フィリピン
2007年4月 ベトナム
その他マレーシア、インドネシアが2007年中の開催を検討している。
- 4) 次回の第12回会議が、2007年11月にフィリピンで開催されることが表明された。